

会議録

1. 附属機関の名称 : 史跡東之宮古墳整備委員会
2. 開催日時 : 令和6年3月6日(水) 午後2時00分から午後3時30分まで
3. 開催場所 : 犬山市役所 4階 401会議室
4. 出席した者の氏名
 - (1) 委員 赤塚次郎、森下章司、丸山宏、堀木真美子、青山純夫、奥村友幸
 - (2) 執行機関 長谷川教育部長
歴史まちづくり課 加藤課長、渡邊課長補佐、中野主事

5. 報告事項

- (1) 令和5年度実施事業について

6. 議題

- (1) 令和6年度実施計画について
- (2) 東之宮古墳前方部の修復について

7. 会議要旨

報告事項

- (1) 令和5年度実施事業について

(事務局より令和5年度の管理業務、利用状況、普及啓発事業の実施状況について報告)

委員長:チラシの配布数は増えているという説明があったが、見学者が増えているということか。

事務局:見学者はツアーではなく少人数での訪問が増えていると見られるほか、地域住民が登るケースも増えている。

議題

- (1) 令和6年度実施計画について、(2) 東之宮古墳前方部の修復について

((1) 令和6年度実施計画について、(2) 東之宮古墳前方部の修復については共通箇所が多いため、事務局より令和6年度の管理事業、普及啓発事業の実施計画、古墳修復事業における東之宮

古墳前方部の今後の修理案とスケジュールについて合わせて説明。)

委員長:修復完了後を見据えた計画をたてていかなければならない。

委員①:修復完了後、雨によって土壌が流れるのを防ぐ措置をしなければいけないのではないか。芝を張れば樹木が生えてくるまで安定させることがでできるかもしれないが、芝張の工法や材料について検討が必要である。

事務局:仕上げの工法については、検討ののち再度委員会に提示する。

委員②:修復の際に埋め戻す石について、埋める石を並べて撮影したり、使用した石が元あった場所を記録するなど、将来のために記録を残したほうが良いのではないか。

委員①:修復の方法については文化庁と相談しつつ、実施した方が良いのではないか。

事務局:記録の方法と修復の方法については文化庁と協議した上で実施する。記録についてはイベント形式で実施できるか検討する。

令和6年 月 日

上記に相違ないことを確認する。

(署名)

(署名)
